

伊勢湾

8月1日の調査結果を図1に示しました。広範囲に貧酸素水塊がみられ、貧酸素の層は前回調査（7月23、24日）よりも厚くなっている様子が観測されました。

今後、台風第10号の進路等によっては海水の上下混合が起きて、貧酸素水塊が一時的に縮小される可能性があります。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.1~32.0	5.7~26.8
底層	18.8~26.5	26.2~33.6

三河湾

8月5、6日の調査結果を図1に示しました。渥美湾では湾東部で、知多湾では美浜町沖で貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、7月28日から8月5日にかけて徐々に貧酸素水塊が発達している様子が観測されました。8月5日午前から6日午後にかけて風速4.2~12.4m/s（平均6.4m/s）の南から東の風が断続的に吹いたことにより一時的に貧酸素の層が薄くなりましたが、解消には至らず、翌日には再び厚みを増しています（図2）。

今後、台風第10号の影響を受ける場合は海水の上下混合が起きて、貧酸素水塊が縮小あるいは解消される可能性があります。進路等によっては苦潮が発生する可能性もあります。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.6~31.2	22.9~29.0
底層	22.9~28.0	26.8~32.4

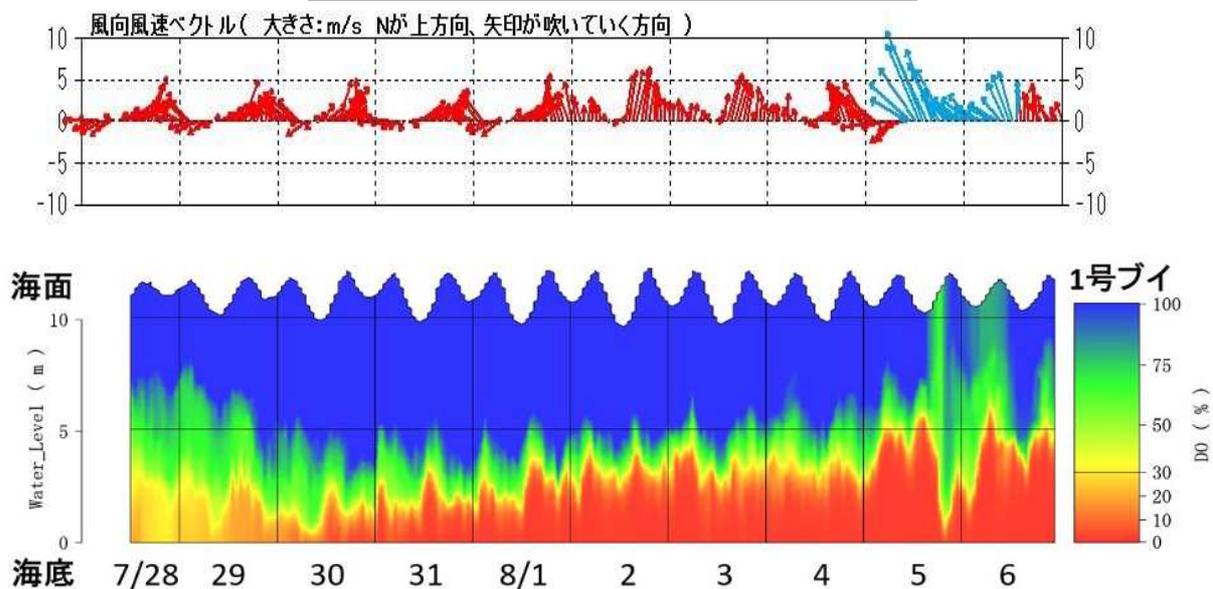


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

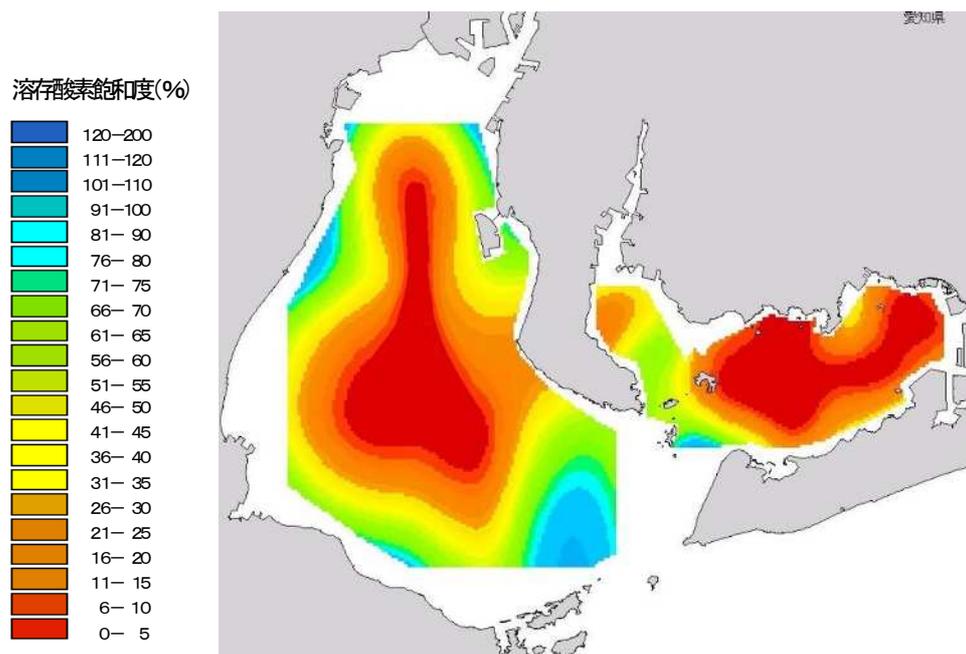


図3 令和元年7月23、24日 (伊勢湾)、7月23日 (三河湾)